

《令和6年度 全国学力・学習状況調査結果報告（藤久保小学校）》

1 調査目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、

- 全国的な児童の学力や学習状況を把握・分析することによって、国や全ての教育委員会における教育施策の成果と課題を分析し、その改善を図る。
- 学校における個々の児童への教育指導や学習状況の改善・充実等に役立てる。
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査結果（小学校6年生）

(1) 学力(平均正答率)

単位(%)

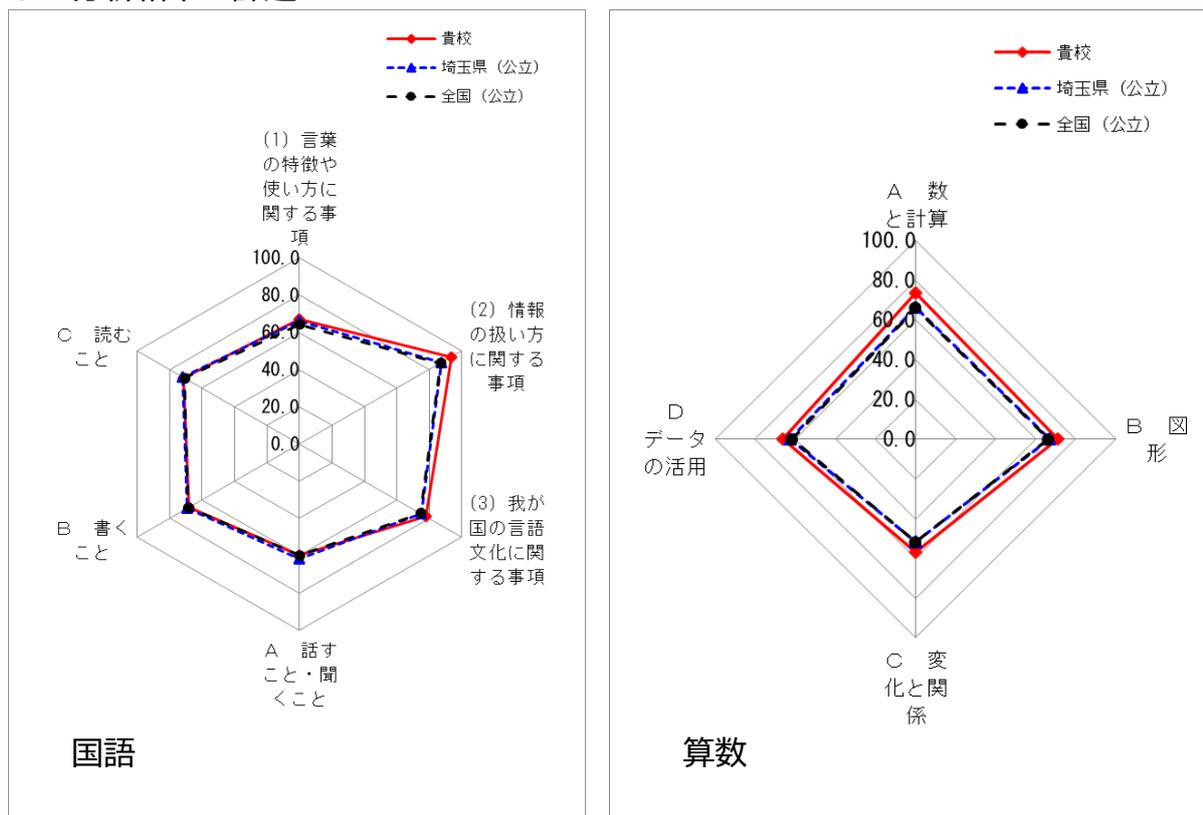
	全国	埼玉県	三芳町	自校
国語	67.7	69	67	69
算数	63.4	64	62	69

(2) 学習状況（「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」の割合）※一部抜粋

単位(%)

質問項目	全国	埼玉県	自校
1 学校に行くのは楽しいと思いますか	84.8	86.3	85.8
2 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	71.1	71.3	69.1
3 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	82.9	84.5	83.2
4 自分には、よいところがあると思いますか	84.1	85.9	77
5 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	89.9	93	90.3
6 将来の夢や目標を持っていますか	82.4	83.6	84.1
7 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	96.7	96.7	96.5
8 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	67.1	70.4	59.3
9 友達関係に満足していますか	91.1	91.3	89.3
10 あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	84.2	89.4	74.4
11 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	88.2	91.1	84.1
12 国語の勉強は好きですか	62	63	51.3
13 算数の勉強は好きですか	61	60.4	69.9

### 3 分析結果と課題



#### 【国語】

- ・情報の扱い方に関する事項でよい状況である。
- ・話すこと、書くこと、読むことについては、全国・県と同程度の状況である。
- ・好意度が低い。授業に主体的に取り組めるとさらに学力は向上する。

#### 【算数】

- ・どの領域でも全国・県よりもよい状況である。
- ・好意度が高い。主体的に取り組んでいるため、さらに習熟度に応じて興味関心を高めることで学力も向上できる。

### 4 課題の具体的解決策

- ・学力観の共通理解をする。(学ぶ楽しさが味わえるように授業を工夫改善する)
- ・学習の振り返りを大切にした授業にする。(振り返りの時間を確保する)
- ・学ぶことが大好きな児童の育成をする。
- ・授業改善をする。(学校オリジナルスタンダードの作成)
- ・授業研究会を通しての指導方法の共有化を図る。
- ・学級会と道徳の授業の充実を図る。

#### 【国語】

- ・言語活動の充実を図ること。(読む・書く・話す・聞く 45分間の配分)
- ・記録、要約、説明、論述、話し合い等の言語活動を工夫することが重要である。

### 【算数】

- ・ 問題解決型の授業の確立を図ること。（自力解決を大切にした授業に）
- ・ 日常生活を絡めながら、活用できる知識・技能を習得させることが重要である。
- ・ データの活用については、小学校段階からデータを言葉と数を使って表現する力を身に付けさせることが重要である。